

目次

基本的な操作

文字板の表示

モードを切り替える

各モードの概略

リゅうずを使う

針と日付の動き方について

充電する(ソーラー充電)

スマートフォンと一緒に使う (モバイルリンク機能)

準備する

- ① アプリケーションをインストールする
- ② Bluetooth を設定する
- ③ ペアリングする

時計の時刻を自動で合わせる

ワールドタイムを設定する

ストップウォッチのデータを見る

アラームを設定する

針のずれを補正する

新着メールの有無を確認する

スマートフォンを探す(携帯電話探索機能)

時計の各種機能を設定する

時計の設定をリセットする

ホーム都市のサマータイム設定を切り替える

時計の充電量を確認する

接続

- 時計とスマートフォンを接続する
- 時計とスマートフォンの接続を解除する
- 時計を機内モードにする
- ペアリングを解除する
- スマートフォンを買い替えたとき

時計の設定

日時を設定する

デュアルタイムを設定する

現在地の時刻とデュアルタイムを入れ替える

ストップウォッチ

計測する

スプリット計測する

アラーム

アラームをセットする

アラームのオン/オフを切り替える

アラームを止める

針の補正

針のずれを補正する

海外に渡航するときは

補足

サマータイムの切り替えについて

対応機種

仕様一覧

モバイルリンク機能に関する注意事項

無線に関するご注意

商標、登録商標について

困ったときは

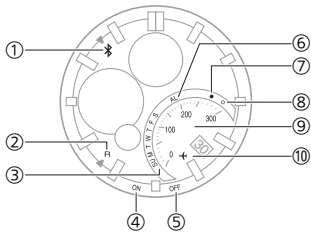
基本的な操作

時計の概要を説明します。

参考

- この操作ガイドに記載しているイラストは、視認性を考慮して実際のものとは異なる描写をしているものがあります。ご了承ください。

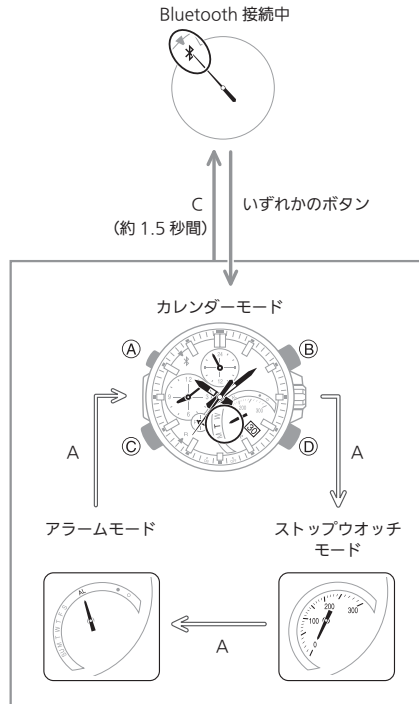
文字板の表示



- ✳マーク**
スマートフォンと接続中のとき、秒針が✳を示します。
- Rマーク**
スマートフォンと接続待機中のとき、秒針が「R」を示します。
- 曜日**
カレンダーモードのとき、モード針が現在の曜日を示します。
- ONマーク**
時計がアラームモードのとき、アラームをオンにすると秒針が「ON」を示します。
- OFFマーク**
時計がアラームモードのとき、アラームをオフにすると秒針が「OFF」を示します。
- ALマーク**
時計がアラームモードのとき、モード針が「AL」を示します。
- マーク**
スマートフォンに到着メールがある場合は、モード針が「●」を示します。
- マーク**
スマートフォンに到着メールがない場合は、モード針が「○」を示します。
- スピードメーター**
時計がストップウォッチモードのとき、計測後にモード針が速度を示します。
* 速度を表示させるには、CASIO WATCH+で走行距離と単位を設定してください。
[速度データを表示する](#)
- 機内モード**
時計が機内モードのとき、モード針が✈を示します。

モードを切り替える

この時計には、以下のモード(機能)がありません。

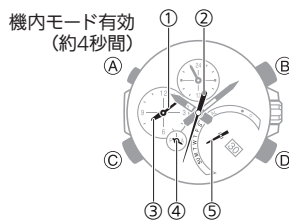


モードの切り替えは、A ボタンで行います。A ボタンを約 2 秒間押し続けると、カレンダーモードになります。スマートフォンと接続するには、C ボタンを約 1.5 秒間押し続けます。

各モードの概略

●カレンダーモード

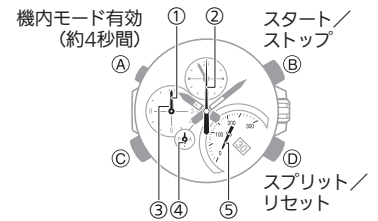
時針と分針が現在地(ホーム都市)の時刻を示し、小時分針がデュアルタイムを示します。



- デュアルタイム分
- 現在地(ホーム都市)の秒
- デュアルタイム時
- デュアルタイム 24 時間表示
針が A の側のときは午前、P の側のときは午後を示します。
- 現在地(ホーム都市)の曜日

●ストップウォッチモード

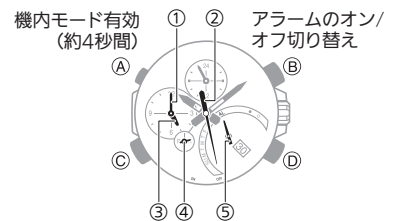
時針と分針が現在地(ホーム都市)の時刻を示し、小時分針がストップウォッチでの計測値を示します。



- ストップウォッチ分
- ストップウォッチ秒
- ストップウォッチ時
- ストップウォッチ 24 時間表示
針が A の側のときは計測値が 0~12 時間、P の側のときは 12~24 時間を示します。
- 平均速度(unit/h)
CASIO WATCH+で走行距離と単位(unit)を設定すると、モード針が平均速度を示します。走行距離の初期値は、1 です。
[速度データを表示する](#)

●アラームモード

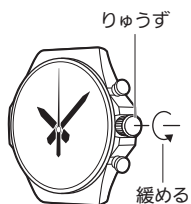
時針と分針が現在地(ホーム都市)の時刻を示し、小時分針がアラーム時刻を示します。



- アラーム分
- アラームモードのオン/オフ
アラームがオンのときは秒針が「ON」、オフのときは「OFF」を示します。
- アラーム時
- アラーム 24 時間表示
針が A の側のときは午前、P の側のときは午後を示します。
- モード

りゅうずを使う

りゅうずは、ねじ込み式になっています(ねじロック式りゅうず)。お使いになるときは、りゅうずを左回しにして、ねじ込みを緩めてください。



●引く/戻す

りゅうずを回して操作するときは、下記イラストのように1段または2段引いてから行います。無理に引っ張らないでください。

1 段引く

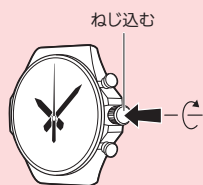


2 段引く



重要

- 防水性能の低下や衝撃を受けたときの損傷を防ぐため、操作が終わったら、りゅうずを押しながら右に回して必ずねじ込みをしてください。



- りゅうずを戻すときは、強く押し過ぎないようにご注意ください。

●早送り/早戻しする

りゅうずを引いた状態で素早く繰り返すと、針を早送りまたは早戻しできます。針を早送り中の場合は、再度りゅうずを同じ方向に素早く繰り返すと、針の動きが速くなります。

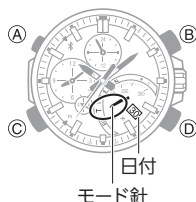
●早送り/早戻しを解除する

りゅうずを逆方向に回す、またはボタンを押します。

参考

- りゅうずを引いた状態で2分以上何も操作しないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻し、再度引いてください。

針と日付の動き方について



●モード針と日付の動きについて

この時計は、日付を変更すると、日付の動きに連動してモード針が回転します。

●日付について

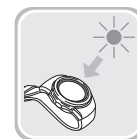
- 午前 12 時になると約 1 分半から 3 分かけて日付が変わります。このとき、日付の動きに合わせてモード針が回転します。
- りゅうずを引いた状態では日付が正しく表示されない場合があります。

充電する(ソーラー充電)

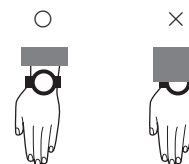
この時計は、ソーラーパネルで発電した電気をバッテリー(二次電池)に充電しながら動作します。ソーラーパネルは文字板と一体になっており、文字板に光が当たっているときは常に発電し充電しています。

●充電する

時計を腕から外しているときは、光が当たる明るい場所に置いて充電してください。



腕につけているときは、文字板(ソーラーパネル)に衣類の袖がかからないように心がけてください。文字板(ソーラーパネル)が一部でも隠れていると発電効率が低下します。



重要

- 充電時に、光源の条件や環境によっては時計本体が非常に高温になることがあります。火傷をしないように注意してください。また、以下のような高温下での充電は避けてください。
 - 炎天下に駐車している車のダッシュボードの上
 - 白熱灯などの発熱体に近い所
 - 直射日光が長時間当たり、高温になる所

●充電不足や充電切れ

充電量は、針の動きで確認できます。充電不足になると、使用できる機能が制限されます。

重要

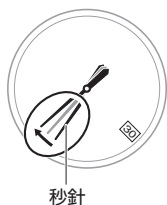
- 充電不足や充電切れになったときは、文字板(ソーラーパネル)に光を当てて速やかに充電してください。

参考

- 充電が切れた状態で光に当て続けると、秒針が反時計回りに動き、57 秒の位置で停止します。これは充電を開始したことを示します。

充電不足のとき

秒針が2秒ごとに動きます。



充電切れのとき

すべての針と日付が停止します。



●充電時間の目安

充電時間の目安として、下の表をご活用ください。

1日、使用するために必要な充電時間

光量		充電時間
多 ↓ 少	①	8分
	②	30分
	③	48分
	④	8時間

充電量の回復に必要な時間

光量	充電時間	
	充電レベル1	充電レベル2
多 ↓ 少	①	3時間
	②	9時間
	③	13時間
	④	153時間

充電レベル1:

充電切れから時計が動き出すまで

充電レベル2:

時計が動き出してから満充電まで

光量

- ① 晴れた日の屋外など(50,000ルクス)
- ② 晴れた日の窓際など(10,000ルクス)
- ③ 曇りの日の窓際など(5,000ルクス)
- ④ 蛍光灯下の室内など(500ルクス)

参考

- 実際の充電時間は、環境や時計の設定などによって異なります。

●節電(パワーセービング機能)

午後10時から午前6時の間に、時計を暗い場所に約1時間置いておくと秒針が停止し、レベル1の節電状態になります。この状態が6~7日続くと、モード針を除くすべての針が12時位置で停止し、レベル2の節電状態になります。

レベル1:

秒針を停止して節電します。

レベル2:

日付以外の針の動き、Bluetooth接続およびアラームのお知らせを停止して節電します。

節電状態を解除する

いずれかのボタンを押す、または時計を明るい場所に置くと、節電状態は解除されます。

スマートフォンと一緒に使う (モバイルリンク機能)

時計とスマートフォンをBluetoothで接続することで、時計の時刻を自動で合わせたりできます。

参考

- この機能は、CASIO WATCH+が起動しているときのみ使用できます。
- この章では、時計とスマートフォンを操作します。
 : 時計を操作します。
 : スマートフォンを操作します。

準備する

① アプリケーションをインストールする

スマートフォンと一緒に使うには、以下のリンクをタップしてカシオオリジナルのアプリケーション「CASIO WATCH+」をスマートフォンにインストールしてください。

●iOS(iPhone)をお使いのかた

<https://itunes.apple.com/jp/app/casio-watch+/id760165998?mt=8>

●Android™(GALAXY ほか)をお使いのかた

<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.casio.watchplus>

② Bluetoothを設定する

スマートフォンのBluetooth設定をオンにします。

参考

- 設定方法の詳細についてはスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

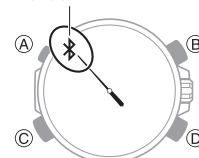
③ ペ어링する

時計とスマートフォンを一緒に使うには、最初にペ어링する必要があります。一度ペ어링すれば、次からは行う必要はありません。

1. ペ어링相手のスマートフォンを、時計の近く(1m以内を推奨)に置きます。
2. ホーム画面で「CASIO WATCH+」アイコンをタップします。
3. 「EDIFICE」をタップします。
4. 「EQB-501」をタップします。
5. アプリケーションの指示に従って操作します。

- ペ어링の要求が表示される場合は、画面に従って操作してください。
- ペ어링が開始すると秒針が12時位置または「R」マークを示します。ペ어링が完了すると秒針が マークに移動します。

Bluetoothマーク



参考

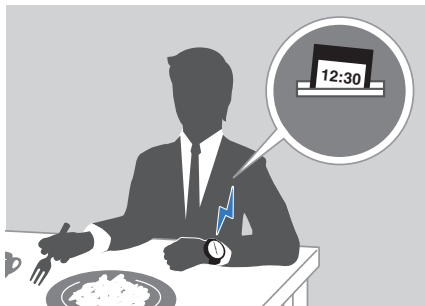
- スマートフォンを買い換えたときなど、今まで接続したことがないスマートフォンと時計を接続したい場合も、上記の手順に従って新しいスマートフォンとペ어링してください。今まで使っていたスマートフォンとのペ어링を解除する必要はありません。

時計の時刻を自動で合わせる

毎日決まった時刻に、時計をネットワーク上の正確な時刻に自動で合わせます。

●使い方

この時計は 1 日に 4 回、時刻合わせを行うようスケジュールされています。(イラストのように) 普段の生活の中で自動的に時刻を合わせるの、そのままお使いになれます。



重要

- 以下のような場合は、自動で時刻を修正できないことがあります。
 - スマートフォンと時計が離れた場所にある
 - 電波干渉などで通信できない
 - スマートフォンのシステム更新を実行している

参考

- CASIO WATCH+ でワールドタイム都市を設定している場合、ワールドタイムの時刻も自動で修正されます。
- 時刻合わせのタイミングは、午前 12 時半頃、午前 6 時半頃、午後 12 時半頃、午後 6 時半頃で、それぞれの時刻になると自動で接続して時刻が合います。時刻合わせが終了すると自動で接続が解除されます。

●サマータイムについて

スマートフォンと接続して時計の時刻を合わせたあとは、スマートフォンと接続しなくてもサマータイムは自動で切り替わります(ホーム都市の時刻とワールドタイムの両方が切り替わります)。

🔗 サマータイムの切り替えについて

- 時計を操作して時刻を修正した場合、サマータイムの自動切り替えは解除されます。
- サマータイムの切り替え期間は、CASIO WATCH+ で確認できます。

●すぐに時刻を合わせたい

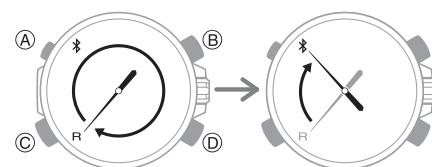
時計とスマートフォンを接続すると、時計の時刻がスマートフォンの時刻に修正されます。今すぐ時計の時刻を合わせたいときは、以下の手順で時計とスマートフォンを接続します。

1. 📱 ホーム画面で、「CASIO WATCH+」アイコンをタップします。
2. 🕒 C ボタンを押します。
 - 秒針が「R」マークに移動します。時計とスマートフォンが接続すると、秒針が ✳️ マークに移動して、時計の時刻がスマートフォンの時刻に修正されます。
 - 時刻の修正が終わると、接続が終了します。



●自動時刻合わせが行われないようにする
自動でスマートフォンと接続して時刻合わせが行われないようにするには、自動時刻合わせを無効にしてください。

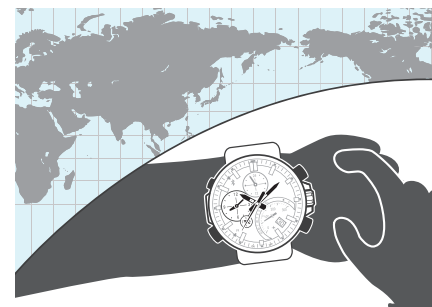
1. 📱 ホーム画面で「CASIO WATCH+」アイコンをタップします。
2. 🕒 C ボタンを約 1.5 秒間押し続けます。
 - 秒針が「R」マークに移動した後、一度秒針が動いて再度「R」マークを示すまで、C ボタンを押し続けてください。
 - 時計とスマートフォンが接続すると、秒針が ✳️ マークに移動します。



3. 📱 ☰ → 「時計設定」の順にタップします。
4. 🕒 「時刻合わせ」をタップします。
5. 📱 画面に従って操作します。

ワールドタイムを設定する

CASIO WATCH+ でワールドタイム都市を設定し、時計にその都市の時刻をセットします。ワールドタイム都市にはサマータイムの時期になると自動でサマータイムになるような設定ができます。

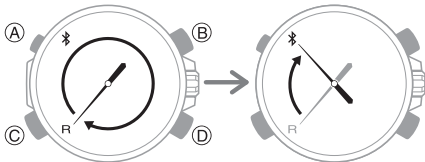


参考

- CASIO WATCH+ のワールドタイム都市は約 300 都市あります。

●ワールドタイム都市を設定する

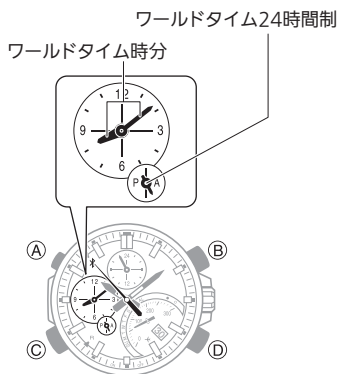
1. 「CASIO WATCH+」アイコンをタップします。
2. C ボタンを約 1.5 秒間押し続けます。
 - 秒針が「R」マークに移動した後、一度秒針が動いて再度「R」マークを示すまで、C ボタンを押し続けてください。
 - 時計とスマートフォンが接続すると、秒針が * マークに移動します。



3. 「ワールドタイム」をタップします。
4. 都市名を入力、または地図に表示されている都市をタップして、ワールドタイム都市を選びます。
5. 画面に従って操作して、ワールドタイムを時計に反映させます。

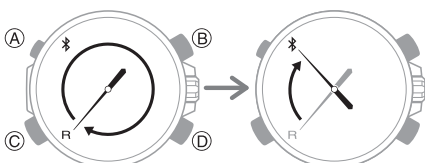
時計の小时分針と小时針(24 時間制)が、選んだ都市の時刻とタイムゾーンを示します。

- ワールドタイムの午前、午後は小时針(24 時間制)の位置で確認できます。



●サマータイムを設定する

1. 「CASIO WATCH+」アイコンをタップします。
2. C ボタンを約 1.5 秒間押し続けます。
 - 秒針が「R」マークに移動した後、一度秒針が動いて再度「R」マークを示すまで、C ボタンを押し続けてください。
 - 時計とスマートフォンが接続すると、秒針が * マークに移動します。



3. 「ワールドタイム」をタップします。

4. 都市名を入力、または地図に表示されている都市をタップして、ワールドタイム都市を選びます。

現在選んでいる都市がサマータイムを採用している場合は、サマータイムの期間が表示されます。

5. サマータイムの切り替え方法を選びます。

- 「Auto」
スタンダードタイムとサマータイムが自動で切り替わります。
- 「OFF」
常にスタンダードタイムで表示します。
- 「ON」
常にサマータイムで表示します。

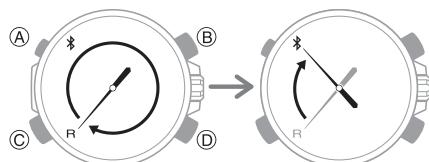
6. 画面に従って操作します。

参考

- サマータイム切り替えの設定が「Auto」のときは、自動でスタンダードタイムとサマータイムが切り替わるので、サマータイムの切り替えのタイミングごとに時計の時刻を変更する必要はありません。また、サマータイムを導入していない都市でも、「Auto」の設定のまま使えます。
- 時計を操作して時刻を修正した場合は、サマータイムの自動切り替えが解除されます。
- サマータイムの切り替え期間は、CASIO WATCH+で確認できます。

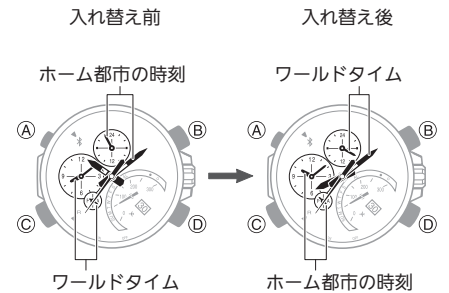
●ワールドタイムとホーム都市の時刻を入れ替える

1. 「CASIO WATCH+」アイコンをタップします。
2. C ボタンを約 1.5 秒間押し続けます。
 - 秒針が「R」マークに移動した後、一度秒針が動いて再度「R」マークを示すまで、C ボタンを押し続けてください。
 - 時計とスマートフォンが接続すると、秒針が * マークに移動します。



3. 「ワールドタイム」をタップします。
4. 画面に従って操作します。

5. 画面に従って操作して、ホーム都市の時刻とワールドタイムを入れ替えます。



参考

- ワールドタイムとホーム都市の時刻を入れ替えた後、24 時間は自動時刻合わせが行われません。

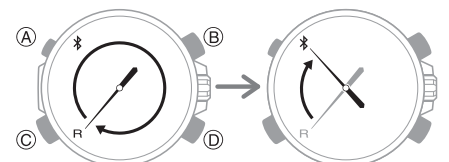
ストップウォッチのデータを見る

時計に記録されているラップタイムやスプリットタイム(最大 100 本)、ベストラップ、平均速度、などのデータをスマートフォンに転送し、CASIO WATCH+で見ることが出来ます。

●データを転送する

時計で計測したデータをスマートフォンに転送します。

1. 「CASIO WATCH+」アイコンをタップします。
2. C ボタンを約 1.5 秒間押し続けます。
 - 秒針が「R」マークに移動した後、一度秒針が動いて再度「R」マークを示すまで、C ボタンを押し続けてください。
 - 時計とスマートフォンが接続すると、秒針が * マークに移動します。



3. 「☰」→「データ BOX」の順にタップします。
4. 「データ転送」をタップします。
計測データの一覧が表示されます。
 - 計測データをタップすると、詳細が表示されます。

●ラップタイムを確認する

スマートフォンに転送したデータを CASIO WATCH+ で確認します。

1. 「CASIO WATCH+」アイコンをタップします。
2. CASIO WATCH+ の をタップします。
3. 「データ BOX」→「EQB-501」の順にタップします。
4. 計測データ一覧の中から、確認したいデータをタップします。
計測データの詳細が表示されます。

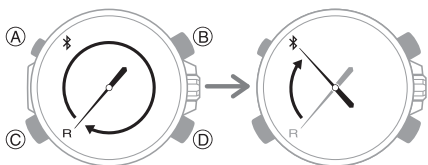
参考

- 「編集」をタップすると、データのタイトルを変更したり、ラップタイムのデータを削除したりできます。

●速度データを表示する

時計に速度を表示させるための設定を行います。

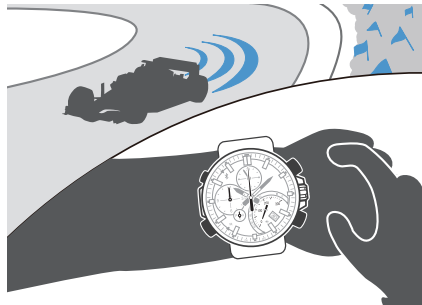
1. 「CASIO WATCH+」アイコンをタップします。
2. ボタンを約 1.5 秒間押し続けます。
 - 秒針が「R」マークに移動した後、一度秒針が動いて再度「R」マークを示すまで、C ボタンを押し続けてください。
 - 時計とスマートフォンが接続すると、秒針が マークに移動します。



3. 「ストップウォッチ」をタップします。
4. 画面に従って、走行距離と単位を設定します。

●レースのラップタイムを記録する(使用例)

レースを観戦しているときに、区間ごとにラップタイムを計測し、その結果を CASIO WATCH+ で見ることができます。



レース前

コースの長さや速度単位を設定します。

- 速度データを表示する

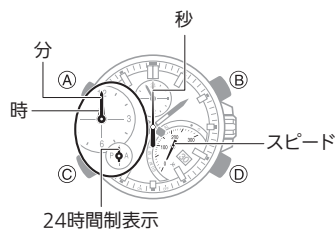
レース中

ラップタイムを計測します。

1. ボタンを約 2 秒間押し続けます。
カレンダーモードになります。



2. ボタンを 1 回押します。
ストップウォッチモードになります。



3. 以下の操作で計測します。



周回ごとに D ボタンを押すと、周回ごとのラップタイムが記録されます。

- ラップタイムは 1/1000 秒単位で記録されます。

4. ボタンを押して、計測をリセットします。
5. ボタンを 2 回押して、カレンダーモードに戻ります。

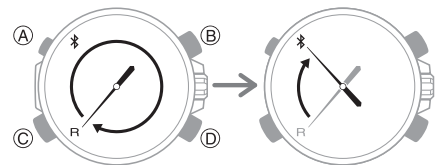
レース後

計測したラップタイムを確認します。

- データを転送する
- ラップタイムを確認する

アラームを設定する

1. 「CASIO WATCH+」アイコンをタップします。
2. ボタンを約 1.5 秒間押し続けます。
 - 秒針が「R」マークに移動した後、一度秒針が動いて再度「R」マークを示すまで、C ボタンを押し続けてください。
 - 時計とスマートフォンが接続すると、秒針が マークに移動します。

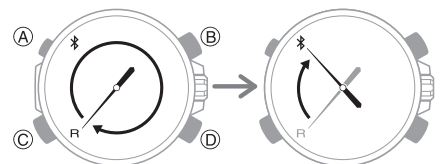


3. 「アラーム」をタップします。
4. 画面に従って操作します。

針のずれを補正する

自動時刻合わせをしても針がずれているときは、CASIO WATCH+ を使って針のずれを補正できます。

1. 「CASIO WATCH+」アイコンをタップします。
2. ボタンを約 1.5 秒間押し続けます。
 - 秒針が「R」マークに移動した後、一度秒針が動いて再度「R」マークを示すまで、C ボタンを押し続けてください。
 - 時計とスマートフォンが接続すると、秒針が マークに移動します。



3. →「時計設定」の順にタップします。
4. 「針のずれ補正」をタップします。
5. 画面に従って操作します。

新着メールの有無を確認する

重要

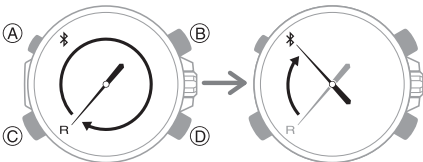
- 本機能は 2017 年当時に開発された機能であり、ご利用になるメールサービスによっては現在ではアクセスが制限される場合があります。
- CASIO WATCH+ でメールにアクセスするには、メールのセキュリティレベルを下げる必要がある場合がありますので、メールサービス提供会社のメール設定方法をご確認ください。メールのセキュリティレベルを下げたくない場合は、本機能のご利用はお控えください。
- 本機能は、メールサービス提供会社のサービス終了や仕様変更などにより利用できなくなることがあります。

スマートフォンを見なくても、時計の操作で新着メールがあるかどうか確認できます。

準備:

CASIO WATCH+ にメールアドレスのアカウントを登録します。

1. 「CASIO WATCH+」のアイコンをタップします。
2. C ボタンを約 1.5 秒間押し続けます。
 - 秒針が「R」マークに移動した後、一度秒針が動いて再度「R」マークを示すまで、C ボタンを押し続けてください。
 - 時計とスマートフォンが接続すると、秒針が * マークに移動します。



3. 「通知設定」の順にタップします。
4. 画面に従って操作します。

メールアカウントの設定は、メールサービス提供会社のメール設定方法をご確認ください。

- 対応できないアカウントもあります。

●新着メールの有無を確認する

1. 時計とスマートフォンが接続している場合は、D ボタンを押します。時計とスマートフォンが接続していない場合は、C ボタンを約 1.5 秒間押し続けます。モード針が ● または ○ に移動します。
 - : 新着メールあり
 - : 新着メールなし

●新着メールがあった場合

新着メールがあったときはスマートフォンで内容を確認してください。

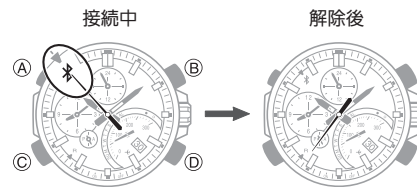
スマートフォンを探す(携帯電話探索機能)

時計の操作で、スマートフォンの音を鳴らして探すことができます。スマートフォンがマナーモードに設定されていても、強制的に音が鳴ります。

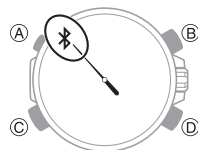
重要

- スマートフォンの音を鳴らすことが禁止されている場所では、この機能を使わないでください。
- 大音量が発生しますので、ヘッドホン使用時にこの機能を使わないでください。

1. 時計とスマートフォンが接続している場合は、いずれかのボタンを押して接続を解除します。



2. A ボタンを約 2 秒間押し続けます。カレンダーモードになります。
3. 秒針が R マークを示すまで約 0.5 秒間、D ボタンを押し続けます。時計とスマートフォンが接続すると秒針が * マークに移動して、スマートフォンの音が鳴ります。
 - スマートフォンの音が鳴るまで数秒かかります。

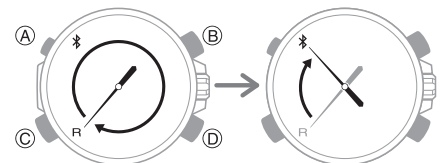


4. いずれかのボタンを押して音を止めます。
 - 音が鳴り始めてから 30 秒間は、時計のボタン操作で音を止めることができます。

時計の各種機能を設定する

Bluetooth 接続を自動で切断する時間などは、CASIO WATCH+ で設定できます。

1. 「CASIO WATCH+」アイコンをタップします。
2. C ボタンを約 1.5 秒間押し続けます。
 - 秒針が「R」マークに移動した後、一度秒針が動いて再度「R」マークを示すまで、C ボタンを押し続けてください。
 - 時計とスマートフォンが接続すると、秒針が * マークに移動します。



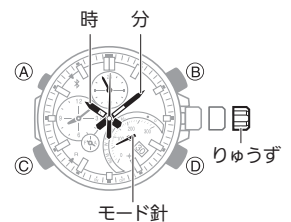
3. 「時計設定」の順にタップします。
4. 設定したい内容を選び、画面に従って操作します。

時計の設定をリセットする

CASIO WATCH+ を使って変更した時計の以下の設定を、お買い上げ時の状態に戻します。

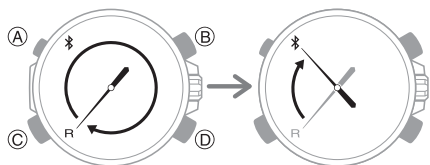
- 時刻合わせ
- ワールドタイム
- アラーム
- ストップウォッチ
- 接続時間

1. りゅうずを 2 段引きます。
2. C ボタンを約 5 秒間押し続けます。秒針が 1 周し、設定がリセットされます。



ホーム都市のサマータイム設定を切り替える

1. ホーム画面で、「CASIO WATCH+」アイコンをタップします。
2. C ボタンを約 1.5 秒間押し続けます。
 - 秒針が「R」マークに移動した後、一度秒針が動いて再度「R」マークを示すまで、C ボタンを押し続けてください。
 - 時計とスマートフォンが接続すると、秒針が※マークに移動します。

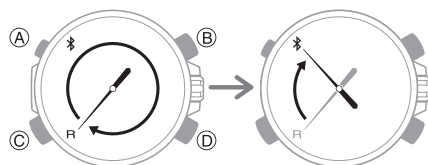


3. ≡ → 「時計設定」の順にタップします。
4. 「サマータイム設定」をタップします。
5. サマータイムの切り替え方法を選びます。
 - 「Auto」
スタンダードタイムとサマータイムが自動で切り替わります。
 - 「OFF」
常にスタンダードタイムで表示します。
 - 「ON」
常にサマータイムで表示します。
6. 画面に従って操作します。

時計の充電量を確認する

CASIO WATCH+で時計の充電量を確認できます。

1. ホーム画面で、「CASIO WATCH+」アイコンをタップします。
2. C ボタンを約 1.5 秒間押し続けます。
 - 秒針が「R」マークに移動した後、一度秒針が動いて再度「R」マークを示すまで、C ボタンを押し続けてください。
 - 時計とスマートフォンが接続すると、秒針が※マークに移動します。



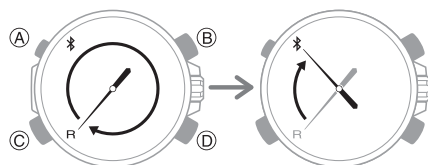
3. CASIO WATCH+で充電量の表示を確認します。

接続

時計とスマートフォンを接続する

ペアリングが完了している時計とスマートフォンを Bluetooth 接続します。

- ペアリングしていないときは、「③ ペアリングする」に従って、ペアリングを完了してください。
1. スマートフォンを、時計の近く (1m 以内を推奨) に置きます。
 2. 秒針が※を示していないときに、C ボタンを約 1.5 秒間押し続けます。
 - 秒針が「R」マークに移動した後、一度秒針が動いて再度「R」マークを示すまで、C ボタンを押し続けてください。
 - 時計とスマートフォンが接続すると、秒針が※マークに移動します。



重要

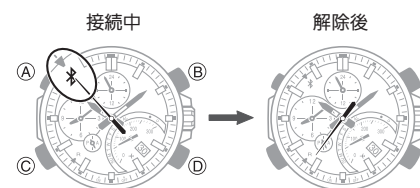
- 時計とスマートフォンを接続できないときは、CASIO WATCH+が終了している可能性があります。スマートフォンのホーム画面で「CASIO WATCH+」アイコンをタップしてアプリを起動してから、時計の C ボタンを約 1.5 秒間押し続けてください。

参考

- 接続中に一定時間何も操作しないと、自動で接続は解除されます。接続を維持する時間は、CASIO WATCH+の「時計設定」→「接続時間」で、3分、5分、10分から選ぶことができます。

時計とスマートフォンの接続を解除する

いずれかのボタンを押すと、Bluetooth 接続が解除され秒針が通常の動きに戻ります。



時計を機内モードにする

Bluetooth の電波を発信しないようにできません。病院内や飛行機内など、電波が発信しないようにしたい場合は、時計を機内モードにしてください。スマートフォンと接続できるようにしたい場合は、機内モードを解除してください。

重要

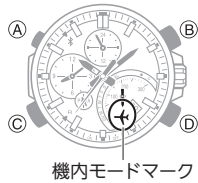
- 時計が機内モードのときは、以下の機能を使用できません。
 - 自動時刻合わせ
 - 新着メールの確認
 - スマートフォンの探索
 - Bluetooth 接続

1. 時計とスマートフォンが接続している場合は、いずれかのボタンを押して接続を解除します。

2. **A** ボタンを約 4 秒間押し続けます。

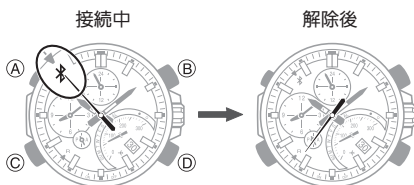
時計が機内モードになり、モード針が機内モードマークに移動します。

- 時計が機内モードのときに **A** ボタンを約 4 秒間押し続けると、機内モードが解除されます。



ペアリングを解除する

1. 時計とスマートフォンが接続している場合は、いずれかのボタンを押して接続を解除します。

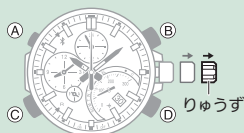


2. ホーム画面で、「CASIO WATCH+」アイコンをタップします。
3. CASIO WATCH+の **✖** をタップします。
4. 「登録済みの時計」からペアリングを解除したい時計をタップします。
5. 「登録(ペアリング)を削除する」をタップします。
6. 画面に従って操作します。

参考

- 一度ペアリングを解除した後、再度スマートフォンとペアリングできない場合は、以下の手順で時計のペアリング情報を削除してから、ペアリングをやり直してください。

- ① **D** りゅうずを 2 段引きます。



- ② **D** ボタンを約 5 秒間押し続けます。

秒針が 1 周して、ペアリング情報が削除されます。

- ③ **D** りゅうずを戻します。

スマートフォンを買い替えたとき

今まで接続したことのないスマートフォンと本機を Bluetooth 接続する場合は、ペアリング操作が必要です。

ペアリングする

時計の設定

現在地の時刻やデュアルタイムを手動で設定します。

準備:

ここでの操作はカレンダーモードで行います。**A** ボタンを押してカレンダーモードに切り替えてください。

モードを切り替える

カレンダーモード

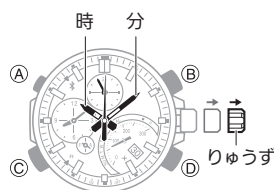


日時を設定する

スマートフォンと通信しているときは、スマートフォンの時刻と日付に自動的に合わせます。スマートフォンと接続しないときは、以下の操作で時計の時刻と日付を合わせます。

1. りゅうずを 2 段引きます。

秒針が 12 時位置に移動し、「時」と「分」を設定できる状態になります。



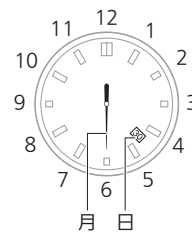
2. りゅうずを回して「時」と「分」を合わせます。

- 時刻に合わせてデュアルタイムも修正されます。デュアルタイムが修正されている間、りゅうず操作はできません。

3. **A** ボタンを押します。

月日を設定できる状態になります。

4. **B** ボタンを押して「月」を合わせます。

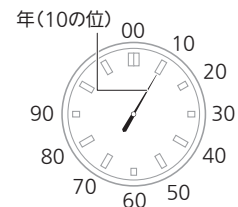


5. りゅうずを回して「日」を合わせます。

6. **A** ボタンを押します。

「年(10の位)」を設定できる状態になります。

7. りゅうずを回して「年(10の位)」を合わせます。

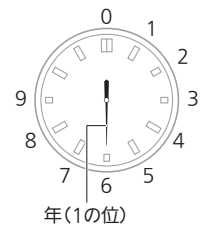


- 年は西暦(20xx)で合わせます。

8. **A** ボタンを押します。

「年(1の位)」を設定できる状態になります。

9. りゅうずを回して「年(1の位)」を合わせます。



10. 時報に合わせてりゅうずを戻します。

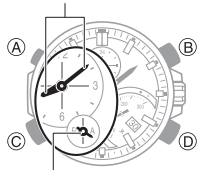
参考

- 年月日を設定すると、自動的に曜日も設定されます。

デュアルタイムを設定する

現在地の時刻とは別に、海外時刻などもう1つの時刻を表示できます。

デュアルタイム

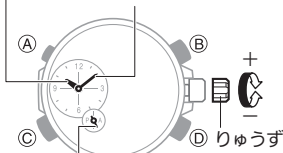


デュアルタイム24時間制表示

1. りゅうずを1段引きます。
秒針が12時位置に移動します。
2. りゅうずを回して時刻を設定します。
• 時刻は15分単位で設定できます。

デュアルタイム時針

デュアルタイム分針



デュアルタイム24時間針

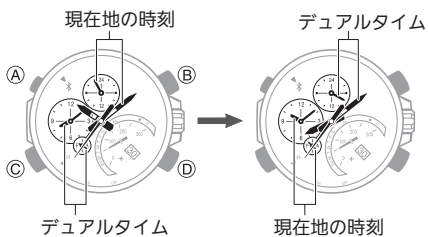
3. りゅうずを戻します。

現在地の時刻とデュアルタイムを入れ替える

B ボタンを約3秒間押し続けると、デュアルタイムと現在地の時刻が入り替わります。

入れ替え前

入れ替え後



参考

- 時計でデュアルタイムを設定した場合、現在地の時刻とデュアルタイムを入れ替えても、日付は入れ替わりません。

ストップウォッチ

最長で23時間59分59秒の計測ができます。

通常の計測のほかに、スプリットタイムも計測できます。

準備:

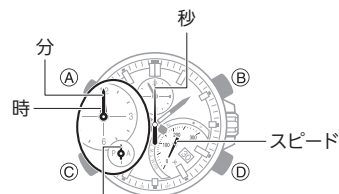
ここでの操作はストップウォッチモードで行います。A ボタンを押してストップウォッチモードに切り替えてください。

ⓐ モードを切り替える

ストップウォッチモード



計測する



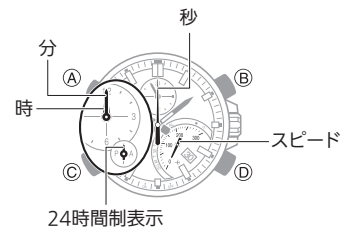
24時間制表示

1. 以下の操作で計測します。

- Ⓑ スタート
- ↓
- Ⓑ ストップ
- ↓
- Ⓑ 再スタート
- ↓
- Ⓓ ストップ

2. D ボタンを押して、計測をリセットします。
3. A ボタンを2回押して、カレンダーモードに戻ります。

スプリット計測する



24時間制表示

1. 以下の操作で計測します。

- Ⓑ スタート
- ↓
- Ⓓ スプリット*
- ↓
- Ⓑ ストップ

* D ボタンを押すごとに、その時点までの経過時間が10秒間表示されます。

2. D ボタンを押して、計測をリセットします。
3. A ボタンを2回押して、カレンダーモードに戻ります。

参考

- スプリットタイムは最大で100本記録されます。データはCASIO WATCH+で確認できます。

アラーム

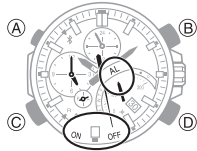
指定した時刻に音でお知らせします。

準備:

ここでの操作はアラームモードで行います。
A ボタンを押してアラームモードに切り替えてください。

🔄モードを切り替える

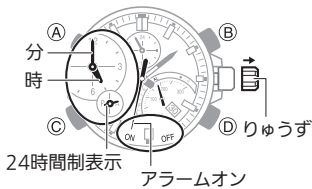
アラームモード



アラームをセットする

1. りゅうずを1段引きます。

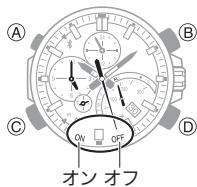
アラームがオンになります。



2. りゅうずを回してアラーム時刻を設定します。
3. りゅうずを戻します。
4. A ボタンを1回押して、カレンダーモードに戻ります。

アラームのオン/オフを切り替える

B ボタンを押すと、アラームのオンとオフを切り替えることができます。



アラームを止める

アラームの音が鳴っているときに、いずれかのボタンを押します。

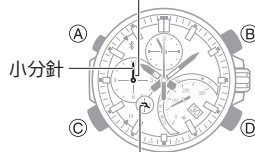
針の補正

強い磁気や衝撃を受けると、針の時刻や日付の表示がずれることがあります。そのようなときは、針のずれを補正します。

針のずれを補正する

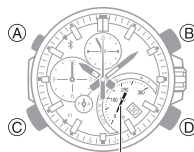
1. りゅうずを1段引きます。
2. D ボタンを約5秒間押し続けます。
 小时針、小分針および小时針(24時間制)を補正できるようになります。

小时針



小时針(24時間制)

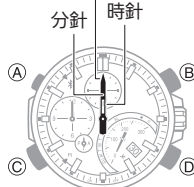
3. りゅうずを回して小时針、小分針および小时針(24時間制)を12時位置に合わせます。
4. A ボタンを押します。
 モード針を補正できるようになります。



モード針

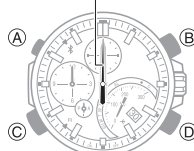
5. りゅうずを回してモード針を「0」に合わせます。
6. A ボタンを押します。
 時計、分針および時計(24時間制)を補正できるようになります。

時計(24時間制)

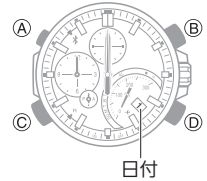


7. りゅうずを回して時計と分針を12時位置に合わせます。
8. A ボタンを押します。
 秒針を補正できるようになります。

秒針



9. りゅうずを回して秒針を12時位置に合わせます。
10. A ボタンを押します。
 日付を補正できるようになります。



日付

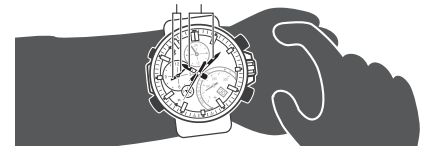
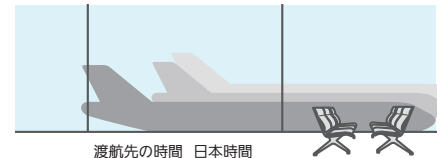
11. りゅうずを回して「1」を中央に合わせます。
12. りゅうずを戻します。

海外に渡航するときは

こんな使い方をすれば、スムーズに渡航先の日時に変更できます。

●搭乗前

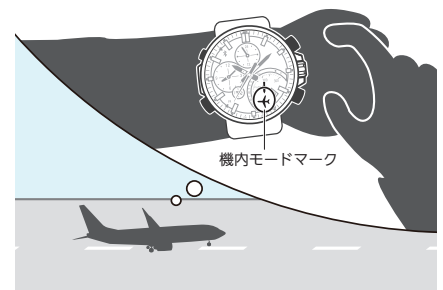
渡航先の時刻をワールドタイム(デュアルタイム)に設定します。



- 🔄ワールドタイムを設定する
- 🔄デュアルタイムを設定する

●離陸前

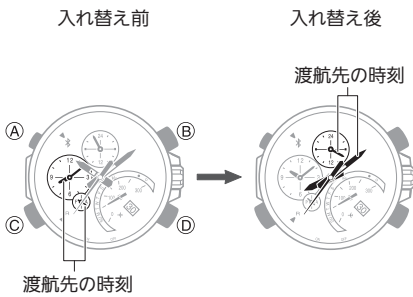
アナウンスに従って、機内モードに設定します。



- 🔄時計を機内モードにする

●到着後

1. 出発地と渡航先の時刻を入れ替えます。



現在地の時刻とデュアルタイムを入れ替える

2. 機内モードを解除します。
時計を機内モードにする

補足

操作説明以外に必要な情報はここにまとめています。必要に応じてご覧ください。

サマータイムの切り替えについて

●スマートフォンと接続して切り替える

スマートフォンと接続したとき、CASIO WATCH+の設定(Auto/ON/OFF)により、時計のホーム都市の時刻またはワールドタイムは以下ようになります。

Auto :

スマートフォンと接続したとき、ホーム都市またはワールドタイム都市がサマータイムに入っていたら、時計の時刻はサマータイムで表示されます。サマータイムに入っていない場合は時計の時刻はスタンダードタイムで表示されます。

ON :

サマータイム期間かどうかに関わらず、時計の時刻は常にサマータイムで表示されます。

OFF :

サマータイム期間かどうかに関わらず、時計の時刻は常にスタンダードタイムで表示されます。

●自動的に切り替える

一度スマートフォンと接続すると、ホーム都市のサマータイム期間の情報(CASIO WATCH+でワールドタイム都市を設定している場合、その都市のサマータイム期間の情報も)が時計に送信されます。CASIO WATCH+でサマータイムの設定を「Auto」にしておけば、そのあとはスマートフォンと接続しなくても、時計がサマータイム期間を判別し、自動でサマータイムに切り替わります。

対応機種

対応機種はカシオホームページでご確認ください。

https://world.casio.com/os_mobile/wat/

仕様一覧

精度 :

平均月差 ± 15 秒

基本機能 :

時・分(10秒ごとに針が動きます)・秒、日付(2000~2099年までのフルオートカレンダー)、曜日

デュアルタイム機能 :

時・分、24時間制、ホームタイムの時刻入れ替え機能

ストップウォッチ機能 :

計測単位 = 1 秒
計測範囲 = 23 時間 59 分 59 秒(24 時間)
計測機能 = 通常計測、スプリット計測
スピード表示 = 0~300unit/h

アラーム機能 :

セット単位 時・分
電子音 10 秒間

モバイルリンク機能 :

自動時刻修正機能
決まった時刻に自動で時計を合わせる
E メール確認機能
時計操作により、メール受信の有無を確認
携帯電話探索機能
時計操作により、スマートフォンの音を鳴らす
サマータイム自動切り替え機能
スタンダードタイム/サマータイムを自動で切り替える
ストップウォッチデータ転送
時計で計測した最大 100 本のラップ/スプリットデータを 1/1000 秒単位で表示
針ずれ補正機能
通信仕様
Bluetooth®
周波数帯域 2400MHz~2480MHz
最大送信電力 0dBm(1mW)
通信距離 ~2m(環境により変化)

その他 :

パワーセービング機能、バッテリー充電警告機能、機内モード(通信を無効にする)

使用電池 :

二次電池

持続時間 :

約 8 か月
使用条件
モバイルリンク機能: 4 回(40 秒間) / 日
アラーム: 1 回(10 秒間) / 日
パワーセービング: 6 時間 / 日

モバイルリンク機能に関する注意事項

●法律上のご注意

●本機は、各国、地域の電波法の適合または認証を取得しております。電波法の適合または認証を取得していないエリアでご使用になると罰せられることがあります。詳しくは、カシオホームページをご覧ください。
<https://world.casio.com/ce/BLE/>

●各国の航空法により、航空機内でのご使用は制限されています。航空会社の指示に従ってください。

●安全上のご注意

⚠ 警告 無線について

- 病院内や航空機内では、病院や航空会社の指示に従ってください。本機からの電磁波などが計器類に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- 高精度な電子機器または微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、使用しないでください。電子機器が誤作動するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- ペースメーカーなどをご使用の方は、本機を胸部から離してご使用ください。ペースメーカーなどに磁力の影響を与えることがあります。万一異常を感じたら直ちに本機を体より離し、医師に相談してください。

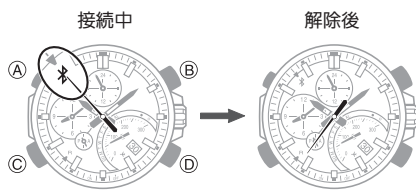
●モバイルリンク機能使用上のご注意

- スマートフォンは、本機の近くに置いてご使用ください。2m 以内が目安です。ただし、周囲の環境(壁、家具など)や建物の構造によっては、通信可能距離が極端に短くなることがあります。
- 本機は、他の機器(電気製品、AV 機器、OA 機器など)の影響を受けることがあります。特に動作中の電子レンジには影響を受けやすく、その近くでは本機が正常に通信できないことがあります。逆に本機の影響で、テレビやラジオに雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。
- 本機の Bluetooth は無線 LAN 対応機器と同一の周波数帯(2.4GHz)を使用しているため、お近くで使用すると電波干渉が発生し、本機と無線 LAN 対応機器の双方で通信速度の低下や雑音、通信不能の原因となる場合があります。

●本機からの電波を止める必要があるときは秒針が✳(Bluetooth 接続中)または「R」(Bluetooth 接続待機中)を指しているときは、本機は電波を発信しています。また、秒針が✳または「R」を指していなくても、1日4回時刻合わせのため、自動で時計とスマートフォンが接続します。

病院内や航空機内など、電波の使用を禁止された区域でお使いになるときは、以下のようにご対応ください。

●電波の発信を止める
いずれかのボタンを押して Bluetooth 接続を解除してください。



●自動時刻合わせを無効にする
CASIO WATCH+で時計とスマートフォンを同期しないように設定してください。

🔍 時計を機内モードにする

無線に関するご注意

- 本機は、電波法に基づいて工事設計認証を受けています。無線局の免許は不要です。
- 本機は、工事設計認証を受けています。以下の事項は法律で罰せられることがあります。
 - 分解および改造すること
- 無線 LAN は、本機と同じ周波数帯(2.4GHz)を使用しています。これらを利用した製品と本機との間で、互いに電波障害を与えることがあります。
- 下記のような環境では、電波状態が悪くなったり、電波が届かなくなったりします。
 - 電子レンジ等の磁場、静電気、不要輻射電波の発生する機器の近く
 - 鉄筋コンクリート(マンションなど)や鉄骨構造の建物内
 - 大型金属製家具の近く
 - 各無線機器の間に人が入ったり、間を人が横切るとき、腕を組んだりしたとき
 - 腕時計とスマートフォン等が別々の部屋にある場合(障害物がある場合)
- 電波を使用している関係上、第三者が故意または偶然に傍受することも考えられます。機密を要する重要な事柄や人命に関わることには使用しないでください。

<以下、ARIB(一般社団法人 電波産業会)に準ずる>

●本機は 2.4GHz 帯を使用し、変調方式は DS-SS/FH-SS/OFDM 方式、DS-FH, FH-OFDM 複合方式以外の"その他の方式"です。また、想定される与干渉距離は約 10m です。

2.4 XX1

●本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局との間で、電波干渉が発生した場合には、速やかに通信チャンネルを変更するか、使用する場所を変えるか、本機の使用を停止してください。
3. 不明な点がある場合やお困りの場合は、お買い上げの販売店または「修理に関するお問合せ先」(「取扱説明書」を参照)にお問い合わせください。

商標、登録商標について

- Bluetooth®は、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。
- iPhone、App Store は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。
- iOS は米国シスコの商標または登録商標です。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- GALAXY, GALAXY Note, GALAXY S は Samsung Electronics Co., Ltd.の登録商標です。
- Android および Google Play™ は、Google LLC の商標または登録商標です。
- その他の会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

困ったときは

ペアリングできない

Q1 時計とスマートフォンが一度も接続(ペアリング)できない

機種は対応していますか？

お使いのスマートフォンと OS が対応機種となっているかご確認ください。対応機種についてはカシオホームページをご覧ください。

👉 https://world.casio.com/os_mobile/wat/

CASIO WATCH+をインストールしましたか？

時計と接続するためには、CASIO WATCH+をスマートフォンにインストールする必要があります。

🔍 ① アプリケーションをインストールする

Bluetooth は設定しましたか？

スマートフォンの Bluetooth を設定してください。設定方法の詳細についてはスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

iPhone をお使いの方

- 「設定」→「Bluetooth」→ オン
- 「設定」→「プライバシー」→「Bluetooth 共有」→「CASIO WATCH+」→ オン

Android をお使いの方

- Bluetooth をオンにしてください。

上記以外

一部のスマートフォンで CASIO WATCH+を使用する場合、スマートフォンで BT Smart の設定を無効にする必要があります。設定方法の詳細についてはスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

ホーム画面で「メニュー」→「本体設定」→「Bluetooth」→「メニュー」→「BT Smart 設定」→「無効にする」

再接続できない

Q1 時計とスマートフォンが再接続できない

CASIO WATCH+は起動していますか？

CASIO WATCH+が終了していると、時計とスマートフォンの再接続ができません。スマートフォンのホーム画面でCASIO WATCH+のアイコンをタップした後、時計のCONNECTボタン(C)を約1.5秒間押し続けてください。



スマートフォンを確認しましたか？

スマートフォンの電源を入れ直し、CASIO WATCH+のアイコンをタップしてから、時計のCONNECTボタン(C)を約1.5秒間押し続けてください。



Q2 スマートフォンの機内モードを有効にしたら接続できなくなった

スマートフォンの機内モードを有効にすると、時計と接続できません。スマートフォンの機内モードを解除し、ホーム画面で「CASIO WATCH+」アイコンをタップした後、時計のCONNECTボタン(C)を約1.5秒間押し続けてください。



Q3 時計の機内モードを有効にしたら接続できなくなった

時計の機内モードを解除してから、時計のCONNECTボタン(C)を約1.5秒間押し続けてください。



Q4 スマートフォンのBluetoothをオンからオフにしたら接続できなくなった

スマートフォンのBluetoothをオフからオンにし、ホーム画面で「CASIO WATCH+」アイコンをタップした後、時計のCONNECTボタン(C)を約1.5秒間押し続けてください。



Q5 スマートフォンの電源を切ったら接続できなくなった

スマートフォンの電源を入れ、CASIO WATCH+のアイコンをタップしてから、時計のCONNECTボタン(C)を約1.5秒間押し続けてください。



どうしても接続できない場合

Q1 どうしてもスマートフォンと時計を接続できない

スマートフォンを確認しましたか？

スマートフォンの電源を入れ直し、CASIO WATCH+のアイコンをタップしてから、時計のCONNECTボタン(C)を約1.5秒間押し続けてください。



ペアリングをやり直しましたか？

ペアリングを解除した後、ペアリングをやり直してください。

🔄 [ペアリングを解除する](#)

それでも接続できない場合

時計のペアリング情報を削除した後、再度ペアリングを行ってください。

🔄 [「ペアリングを解除する」の参考](#)

スマートフォンを機種変更した場合

Q1 今使っている時計を別のスマートフォンと接続したい

お使いになっている時計と接続したいスマートフォンをペアリングしてください。

🔄 [③ ペアリングする](#)

携帯電話探索機能 (Phone Finder)

Q1 スマートフォンの探索ができない

接続は解除していますか？

Bluetooth接続中は、スマートフォンの探索ができません。

CASIO WATCH+は起動していますか？

CASIO WATCH+が終了していると、スマートフォンの探索ができません。ホーム画面でCASIO WATCH+のアイコンをタップして起動してください。

上記以外

数秒待ってもスマートフォンが反応しない場合は、スマートフォンが離れた場所にあることが考えられます。場所を変えてスマートフォンの探索をお試しください。

Q2 スマートフォンが反応するまでに時間がかかる

時計と接続ができてからスマートフォンの音が鳴るので、接続するまでには数秒かかります。

Q3 近くにスマートフォンがあるのに探索ができない

電波で通信しているため、2m以内でも探索できない場合があります。周囲の環境によっては、通信可能距離が極端に短くなる場合があります。

E メール確認機能 (Email check)

Q1 確認できるメールアカウントは何ですか？

@gmail.com、@yahoo.com、@yahoo.co.jp、@icloud.com、@aol.jp、@aol.com、@aim.com、@i.softbank.jp、@outlook.jp、@outlook.com などです。

CASIO WATCH+でメールにアクセスするには、メールのセキュリティレベルを下げる必要がある場合がありますので、メールサービス提供会社のメール設定方法をご確認ください。

本機能は、メールサービス提供会社のサービス終了や仕様変更などにより利用できなくなることがあります。

Q2 通知させるメールアカウントは何個設定できますか？

CASIO WATCH+では 5 個までアカウントを登録できます。

Q3 時計に表示されるメールの情報は何ですか？

スマートフォンに到着メールがあるかどうか、モード針で確認できます。

- を示しているときは到着メールがありません。
- を示しているときは到着メールはありません。

Q4 確認結果が表示されるまでに時間がかかる

Eメールの確認には数 10 秒かかります。

Q5 Eメール確認ができません

アカウントは登録しましたか？

↓ CASIO WATCH+に、確認したい Eメールのアカウントを登録ください。

アカウントとパスワードを正しく入力しても、ユーザー名(アカウント)またはパスワードが間違っているという内容が表示されますか？

↓ CASIO WATCH+でメールにアクセスするには、メールのセキュリティレベルを下げる必要がある場合がありますので、メールサービス提供会社のメール設定方法をご確認ください。

CASIO WATCH+は起動していますか？

CASIO WATCH+が終了している可能性があります。ホーム画面で CASIO WATCH+のアイコンをタップしてください。

自動時刻修正機能 (Time Adjustment)

Q1 スマートフォンの時刻とどのタイミングで合わせるのですか？

時刻合わせのタイミングは、午前 12 時半頃、午前 6 時半頃、午後 12 時半頃、午後 6 時半頃で、それぞれの時刻になると自動で接続して時刻を修正します。時刻合わせが終了すると自動で接続が解除されます。

Q2 自動修正の時刻になっても修正されない

時刻合わせのタイミングが遅れていますか？

都市の時刻を入れ替えたり、時計で時刻を修正したりすると、それから 24 時間は自動時刻修正が行われません。これらの操作の後、24 時間経過すると自動時刻修正が機能するようになります。

時計が機内モードになっていませんか？

時計が機内モードになっていると、時刻合わせのタイミングになっても時刻合わせを開始しません。時計の機内モードを解除してください。

🔗 [時計を機内モードにする](#)

Q3 正しい時刻が表示されない

スマートフォンが圏外の状態になっているなどでネットワークに接続していない場合は、スマートフォンの時刻が正しくない可能性があります。その場合は、スマートフォンをネットワークに接続して時刻を合わせてください。

ワールドタイム

Q1 設定したワールドタイム都市の時刻がずれている

タイムゾーンやサマータイムの制度が変更になった可能性があります。

Q2 現在地(ホーム都市)の時刻とワールドタイム都市の時刻の入れ替え後に、ワールドタイムの時刻がずれている

CASIO WATCH+で、ワールドタイム都市を設定してください。

針の動きと表示

Q1 現在のモードがわからない

時計がどのモードになっているかは、モード針の位置で確認できます。

🔗 [モードを切り替える](#)

- A ボタンを約 2 秒間押し続けると、カレンダーモードになります。



Q2 針が速く動いているときに、ボタンを操作できない

時計の設定を変更した後などで針が動いているときは、モード切り替え以外のボタン操作ができません。針が止まってから操作してください。

Q3 秒針が 2 秒ごとに動いている

充電量が不足しています。充電量が回復するまで光を当ててください。

🔗 [充電する\(ソーラー充電\)](#)

Q4 すべての針が 12 時位置で停止し、ボタン操作ができない

充電切れです。充電量が回復するまで光を当ててください。

🔗 [充電する\(ソーラー充電\)](#)

Q5 突然、針の動きが速くなった

以下の原因の場合は故障ではありません。通常の動きに戻るまでお待ちください。

- パワーセービング機能が解除され、復帰している。
🔗 [節電\(パワーセービング機能\)](#)
- スマートフォンと接続して時刻を修正している。
🔗 [時計の時刻を自動で合わせる](#)

Q6 針の動きが止まり、ボタン操作ができなくなった

充電回復モードです。回復するまで(約 15 分間)お待ちください。明るい場所に置いて充電すると早く回復します。

Q7 時刻と日付の表示位置がずれている

強い磁気や衝撃の影響で針の位置にずれが生じることがあります。針のずれを補正してください。

🔗 [針のずれを補正する](#)

Q8 時刻は合っているが、日付が中央に表示されていない

日付を更新中です。日付の更新に関しては、以下をご確認ください。

🔗 [針と日付の動き方について](#)

りゅうずの操作

Q1 りゅうずを回しても何も操作できない

りゅうずを引いたまま 2 分以上(針や日付のずれ補正の場合は約 30 分間)何も操作しないと、操作が効かなくなります。りゅうずをいったん戻した後、再度引いてください。

🔗 [りゅうずを使う](#)

Q2 りゅうずの操作ができない

時計の設定を変更した後などで針が動いているときは、りゅうずの操作ができません。針が止まってから操作してください。

充電

Q1 光に当てても操作できない

充電切れになると操作できなくなります。充電量が回復するまで光を当ててください。

🔗 [充電する\(ソーラー充電\)](#)